

2025年4月16日

<法人トピックス>

兵庫県豊岡市
KDDI 株式会社

兵庫県豊岡市と KDDI、 行政 DX 推進に向け KDDI デジタル人財を派遣

～DX 推進における協定を締結、市民サービス向上や業務効率化を目指す～

KDDI 株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役社長 CEO:松田 浩路、以下 KDDI）は 2025 年 4 月 16 日、兵庫県豊岡市（市長: 関貫 久仁郎、以下 豊岡市）と、行政 DX を目的とした「DX 推進における包括連携協定」（以下 本協定）を締結しました。両者は本協定を通じ、デジタル技術を活用した市民サービスの向上や情報格差の是正、地域活性化などを推進するために、相互の連携強化を図ることを目指します。

KDDI は本協定とあわせて、2025 年 5 月 1 日からデジタル技術に精通した専門人財を豊岡市に 1 名派遣します。今後、行政手続きのデジタル化や自治体職員・教職員の働き方改革など豊岡市の抱える課題に対し、KDDI のデジタル技術に精通した専門人財が自ら行政の現場に入り、自治体職員とともに解決策を実践していくことで、豊岡市の DX 推進を加速していきます。



<本協定の締結式の様子>

※左から豊岡市長 関貫 久仁郎、KDDI ビジネス事業本部 ビジネスデザイン本部長 那谷 雅敏

■本協定締結の背景

1. 豊岡市の自治体 DX 取り組み概要

豊岡市は、第5次豊岡市行財政改革大綱の柱の1つである「デジタル社会を前提とした市役所になっている」の実現を目指して、自治体 DX を推進しています。

デジタルを活用した具体的な業務改革として、2022年から AI-OCR、RPA を導入し、AI を活用した業務プロセスの見直しや自動化に取り組んでいます。また、オンライン申請を本格導入し、これまでに 130 以上の手続きをオンライン化しました。

2023年には窓口サービス課に番号発券機やセルフレジを導入することで、手続きのわかりやすさと利便性を向上させました。

2024年には電子決裁サービスを導入し、職員のペーパーレス化に向けた取り組みを進めています。

また、2025年2月には、電子錠と連携した公共施設予約システムの運用を開始し、自宅などでいつでも利用したい施設の空き状況の確認や予約ができるようになるなど、積極的かつ継続的に、市民の利便性向上、職員の業務効率化に向けた取り組みを進めています。

2. KDDI における DX の強み

KDDI は通信を核とした DX により人と地域の想いをつなぎ、情報格差、地域課題を解決することで、地域共創を実現することを目指しています。各自治体と連携し、自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(自治体 DX)を推進することで、自治体職員・教職員の業務生産性の向上、および市民サービスの利便性の向上に取り組んでいます。また、社内人材育成機関である「KDDI DX University」を 2020年に設立し、DX 人材の育成にも力を入れています。今後も各自治体と連携し自治体 DX の実現に貢献していきます。

さらに、KDDI は 2024年5月からお客さまの事業成長・社会課題解決へ貢献するため、AI 時代の新たなビジネスプラットフォーム「WAKONX(ワコンクロス)」を始動しました。WAKONX を通じて、日本のデジタル化のスピードアップを推進します。

3. 豊岡市と KDDI のこれまでの取り組みについて

豊岡市と KDDI は、2016年9月に「地域活性化を目的とした包括協定」を締結し、これまで観光振興や特産品の販路拡大、IoT を活用したスマート農業・漁業プロジェクトの実証実験、路線バス・コミュニティバスのデジタル化実証実験など、市民生活の向上と地域課題解決に向けたさまざまな取り組みを実施してきました。

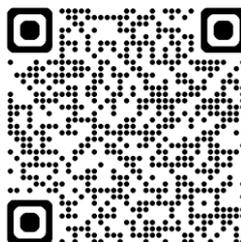
また 2017年には、豊岡市が取り組む「コウノトリ野生復帰」に連携した環境整備活動「コウノトリ生息地保全活動 in 豊岡」を開始し、毎年多くの KDDI 社員、家族が参加しています。

さらに 2018年からは IoT を活用して「コウノトリ育む農法(無農薬)」の水田管理省力化を目指す実証事業も推進してきました(注)。

今回、新たにデジタル人材派遣に関する協定を締結することで、豊岡市における地域 DX および行政 DX の推進をさらに加速させていきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=TBTuebkVbFI>

<「コウノトリ育む農法」の取り組みの様子>



■本協定について

1. 協定締結の目的

豊岡市の持続的な発展と誰一人取り残さない地域社会づくりを目指し、デジタル技術の活用により、市民サービスの向上や情報格差の是正、地域活性化などを図っていきます。

2. 協定締結日

2025年4月16日

3. 連携事項

以下4項目について、連携し協働します。

- (1) 地域DXの推進に関すること
- (2) 行政DXの推進に関すること
- (3) 業務改革の推進に関すること
- (4) その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

(参考)

■豊岡市の今後のDX推進施策について

豊岡市は、第5次行財政改革大綱（2024～2028年度）に基づき、「限られた資本と多様性を活かし、市民の視点で公共サービスが持続可能な状態で提供されている」を実現するため、行財政改革及びDXを推進しています。積極的なデジタル活用による「市民サービス向上」と「行政コスト削減」の両立に継続して取り組んでいきます。

具体的には、市民共創オンラインプラットフォームの導入を通じて、ダイレクトに多様な市民の意見を政策に反映させる試みや、コミュニティ配送を起点にした地域DXの取組みを加速させます。また、オンライン申請は2028年度末にオンライン化率100%を目指しています。さらに、庁内を横断した若手・中堅職員からなるプロジェクトチーム（Xmeeting）を通じた業務改善と組織風土改革や、優れた外部人材の視点を取り入れる地域活性化企業人との業務連携などにより、職員の人財育成にも力を入れ、職員にとっても働きがいのある職場環境の実現も目指します。

■KDDIグループのDXの取り組み

KDDIは通信を核とした注力領域の1つとして、DXを設定しています。通信が溶け込む時代に最適な通信基盤・IoTの運用管理の知見をさらに進化させ、パートナーとともに新たな価値を創造していきます。

1. KDDIが目指すDX

KDDIが持つネットワーク・インフラ基盤をベースとし、IoT関連サービス、データセンター、マネージドなど強みの領域にAIやデジタルの付加価値を合わせて提供することでお客さまのDXを推進します。

今後も、WAKONXを通じて、日本のデジタル化のスピードアップを推進します。

2. KDDIのDXを支える人財

KDDIは2020年度に社内人財育成機関である「KDDI DX University」を設立し、全社員におけ

る DX 基礎スキル研修の受講を進め、2023 年までに約 1 万人が修了しました。また、データをベースにビジネスデザインができる変革リーダーを DX コア人材と定め、約 1 年間 200 時間におよぶ DX コア人材を育成するプログラムを「KDDI DX University」で実施し、のべ 800 名が受講しています (2024 年 10 月時点)。現在は、高度な AI 人材の確保に向けた AI 人材へのリスキリングにも注力しています。

3. KDDI の DX の支援体制

2023 年 3 月、データエンジニアリング専門のスタートアップであるフライウィールと業務提携を締結し、データ活用による企業の DX の推進や企業が所有するデータを安心安全につなぐことで企業間データ連携を推進しています。また、2024 年 3 月、大規模言語モデル (LLM) の社会実装を進める ELYZA と資本業務提携を締結し、ELYZA の持つ国内トップクラスの LLM の研究開発力と KDDI グループの計算基盤、ネットワーク資源などのアセットを組み合わせ、生成 AI 関連のサービス提供を企業や自治体向けに進めています。

■WAKONX について

WAKONX は、KDDI VISION 2030 「『つなぐチカラ』を進化させ、誰もが思いを実現できる社会をつくる。」の実現に向け、日本のデジタル化をスピードアップするというコンセプトから生まれたブランドであり、3つの機能群を有する AI 時代のビジネスプラットフォームです。

WAKONX を通じて、最適化したネットワークの設計・構築から、大規模計算基盤による企業間データの蓄積・融合・分析を行います。また、AI が組み込まれたサービスやソリューションを各業界に最適化して提供することで、法人のお客さまの事業成長と社会課題の解決を支援していきます。



(注) 2018 年 5 月 31 日 ニュースリリース「豊岡市スマート農業プロジェクト」を開始!
<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2018/05/31/3178.html>

以 上